

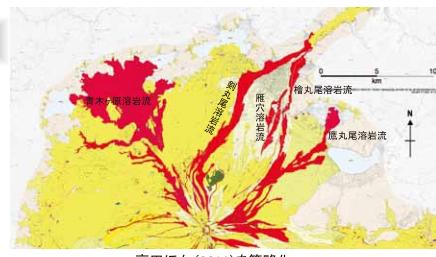
富士山の地形・地質(2)

富士山の溶岩流

富士山ではいろいろなタイプの噴火が起こったため、富士山の周辺には火山弾や火山礫(れき)等といった様々な噴出物が見られます。右図は高田ほか(2014)の富士山火山地質図第2版を簡略化した図です。

流出した溶岩の成分は玄武岩です。玄武岩は流動性が高いため、すみやかにそして薄く広がり、その結果溶岩流は富士山のすそ野まで広がって溶岩樹型や溶岩洞穴を作り出しました。その一部は、広大な青木ヶ原樹海の土台となりました。また中には猿橋溶岩のようにその延長が数十キロにも達する溶岩流もあります。ちなみに、青木ヶ原樹海を作った青木ヶ原溶岩流は割れ目火口と側火口から流れ出たと考えられています。

また、溶岩流は湖の形成にも関わっており、青木ヶ原溶岩流は昔一つの湖だった“せの湖(うみ)”を精進湖、西湖の二つに分けたと言われています。



高田ほか(2014)を簡略化

青木ヶ原樹海

青木ヶ原樹海は、約1200年前に噴火した青木ヶ原溶岩流が固まった上に広がるヒノキやツガなどの常緑樹を中心となる天然林のことです。ヒノキ、ツガが中心となりゴヨウマツやトウヒ、ハリモミといった常緑針葉樹やミズナラ、シラカバ、カエデ類などの落葉広葉樹が混ざっています。

常緑針葉樹林が中心なので一年中緑色の林が海のように広々と広がっていることから「樹海」と呼ばれています。ただし、現在の樹海は針葉樹と広葉樹の混生林なので、春はサクラの仲間やアズキナシなどの花を、秋にはカエデの紅葉やミヤマシキミの赤い実を見ることができます。

また、青木ヶ原溶岩流は玄武岩溶岩で鉄鉱物を多く含むため、磁石を溶岩に近づけるとあらぬ方向に針が向くので「樹海は磁石が使えない」という噂の元になりました。溶岩から遠ざけると磁石は普通に使えるようになりますが、太陽が見えず、複雑な地形をしており、どちらを見ても似たような景色であるため、非常に迷いやくなっています。



溶岩樹型・溶岩洞穴

溶岩樹型とは、噴火で流出した溶岩が森林を通過する際に、溶岩が樹木を取り巻いて固まり、中の木が焼失することによって溶岩の中にできる樹木の外形をした空洞をいいます。富士山麓の溶岩樹型群は質・量ともに良好で、いくつかは国の天然記念物にも指定されています。

溶岩洞穴とは、溶岩の外側が固まり、固まらない内側の溶岩が流れ出し、外側だけが残ってトンネルとなったものです。また、富士山麓には70近くの溶岩洞穴があると言われており、有名な溶岩洞穴としては西湖コウモリ穴、富岳風穴や鳴沢氷穴があります。

西湖コウモリ穴のように、溶岩洞穴の中では溶岩棚、縄状溶岩や再溶解して形成された胎内と呼ばれている壁などを見ることができるものもあり、鳴沢氷穴では夏でも大きな氷の柱を見ることができます。



溶岩洞穴

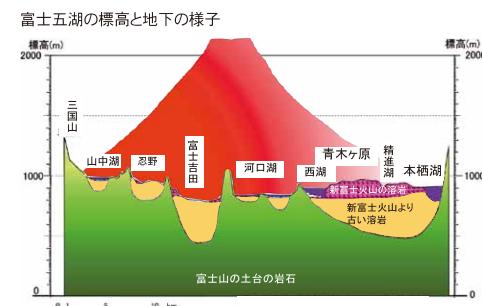
溶岩樹型

富士山クイズ

- Q2:(1)富士五湖で最も深い湖は？ ①本栖湖 ②精進湖 ③河口湖
 (2)富士五湖で最も広い湖は？ ①西湖 ②山中湖 ③河口湖
 (3)富士五湖の水は主にどこから来る？ ①川から流れ込む ②雨水がたまる ③地下水が湧く (答えは8ページ)

富士五湖と水

富士山に降った大量の雨や雪は地下にしみ込み、長い年月をかけてゆっくりと滲過され、清らかな湧水(ゆうすい；湧き水)となって湧き出します。富士五湖は富士山を飾る存在として無くてはなりません。その湖水は主に御坂山地に降った雨雪で、一部の湖は富士山から地下水が湧水として湧き出しています。富士北麓の一日の湧水量は約50万トンと推定されています。有名な湧水としては忍野八海、夏狩・十日市場湧水群があげられます。富士山がもたらしてくれるこれらの良質な水は富士山周辺の人々の生活用水や工業用水として利用されています。



富士山広域避難計画

富士山は活火山であり、いつか必ず噴火します。噴火の規模やタイプによっては多大な被害が生じる恐れがあります。そこで、富士山の噴火による被害を軽減するために、富士山ハザードマップ検討委員会により「富士山ハザードマップ」が作成され、これを基に国と地元の地方公共団体等により「富士山火山防災マップ」が平成16年に作成されました。これに国の富士山火山広域防災検討会の結果を踏まえて、防災と避難に関する内容を盛り込んだ「富士山火山防災避難マップ」が平成18年に作成されました。また、平成19年に気象庁により噴火警戒レベルが導入され、「噴火予報」や「噴火警報」で発表されることになりました。噴火警戒レベルとは、火山活動の状況により、危険な範囲や必要な防災対応を5段階に区分して警戒を呼びかけるもので、火山周辺の住民や観光客、登山者などが取るべき防災行動が一目でわかるキーワードが設定されています。現在、これらを基にさらに実践的な広域避難計画が作成されています(右図)。なお、火山ハザードマップとは、想定される噴火等火山活動により被害の及ぶ範囲を地図に表したもので、

○噴火前(噴火警戒レベルの上昇)と噴火開始直後の避難

区分	溶岩流			
	火砕流、大きな噴石 火口形成	第1次避難 対象エリア	第2次避難 対象エリア	第3次避難 対象エリア
一般住民 レ噴火 火口 3戸	避難準備、 避難 【全方位】	—	—	—
一般住民 レ噴火 火口 4戸	避難準備 【全方位】 避難行動 要支援者 観光客、 登山者	避難 【全方位】	—	—
一般住民 レ噴火 火口 5戸	避難準備 【全方位】 避難行動 要支援者 観光客、 登山者	避難 【全方位】	避難 【全方位】 避難行動 要支援者 観光客、 登山者	—
一般住民 避難行動 要支援者 観光客、 登山者 直後	避難 【全方位】	避難 【全方位】	避難 【全方位】 避難行動 要支援者 観光客、 登山者	避難準備 【必要なライン】 避難 【必要なライン】 入山規制 【必要なライン】

*第4B次避難対象エリアは豪雪時等



噴火前(噴火警戒レベル)と避難エリア(富士山広域避難計画より)

富士山クイズ

A1:②ダイヤモンド富士

富士山の山頂から太陽がわずかに顔を出した瞬間に、太陽光がダイヤモンドのように美しく輝くことからこのように呼ばれます。富士山の西側で見ることができ、本栖湖畔の竜ヶ岳は、美しい初日の出を見ることができるということで特に有名です。